

北海道総合開発計画の推進

2050年の北海道の将来像

- ▶食、観光、脱炭素化等の北海道の強みを活かした産業が国内外に展開し、豊かな北海道が実現することで、我が国の経済安全保障に貢献している。
- ▶デジタルの実装により、北海道内の地方部における定住・交流環境が維持されるとともに、国内外から人を魅きつける多様な暮らし方が実現している。

北海道が我が国に貢献するための土台を固め、北海道の価値を更に高めるため、以下の2つの目標を設定します。

- 目標1
「我が国の豊かな暮らしを支える北海道
～食料安全保障、観光立国、ゼロカーボン北海道」
- 目標2
「北海道の価値を生み出す北海道型地域構造
～生産空間の維持・発展と強靱な国土づくり」

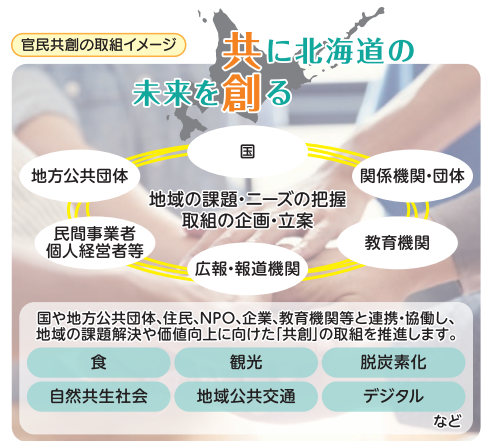
共に北海道の未来を創る 第9期北海道総合開発計画

北海道総合開発計画は、北海道の資源・特性を活かして、我が国が直面する課題の解決に貢献するとともに、地域の活力ある発展を図るため、国が策定する計画です。

令和6年3月12日、9期目となる計画が閣議決定されました。

計画の推進に当たっては、北海道の生産空間というリアルをデジタル技術の活用で補強・補完することをコア概念として、官民の垣根を越えた「共創」、社会変革の鍵となるDX・GXの推進、フロンティア精神の再発揮、及び戦略的・計画的な社会資本整備により実効性を高めながら、主要施策を展開することとしております。

官民共創の取組イメージ



治水事業

事業の概要

管内の治水事業は、一級河川鶴川水系(直轄管理延長42.9km)及び沙流川水系(直轄管理延長46.3km)の河川改修や河川維持修繕、二風谷ダム及び平取ダムのダム管理、樽前山火山砂防事業です。

気候変動による水害や土砂災害の激甚化を踏まえ、第9期北海道総合開発計画の主要施策に基づき、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を強力に推進するとともに、あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」の加速化・強化、インフラ老朽化対策等、安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくりに取り組めます。

また、川の自然環境や景観、水辺の活動、サイクリング環境等、川に関する情報を効果的に発信するとともに、地域と連携して、魅力的な水辺空間の創出、水辺利活用を促進し、北海道らしい地域づくり・観光振興に貢献する「かわたびほっかいどう」プロジェクトを推進します。

● 河川事業

河川改修：河道掘削や堤防整備等のハード対策を行うとともに、住民等が迅速に避難できるよう河川情報や河川監視機器の充実を図り、それらの情報提供等のソフト対策を行います。

河川維持修繕：鶴川及び沙流川の堤防や河川管理施設の機能を維持するため、堤防除草、樋門管修繕や河川巡視等を行います。

● ダム事業

堰堤維持：沙流川流域に位置する二風谷ダム及び平取ダムでは、利水の安定供給や洪水時のダム機能を確保するため、各施設の点検整備、観測・操作及び流木処理等を行います。

● 砂防事業

火山砂防事業：樽前山から火山泥流が発生すると苫小牧市一帯に甚大な被害を及ぼすことから、樽前山南麓の覚生川等において、砂防堰堤の整備等を行います。

● 調査費

総合流域防災対策事業：樽前山において、豪雨災害等に対し流域一体となった総合的な防災対策を推進するための調査等を行います。

治水事業の概要

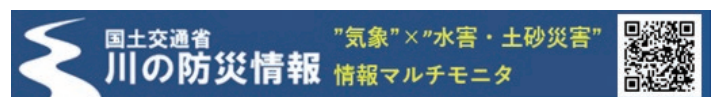
事業別	地区別等	事業の概要
河川整備事業	河川改修	鶴川・沙流川 河道掘削、堤防整備等
	河川維持修繕	鶴川・沙流川 堤防・水閘門等維持管理、河川巡視等
ダム事業	堰堤維持	二風谷ダム ダム管理施設の維持管理・修繕等
	平取ダム	ダム管理施設の維持管理・修繕等
砂防事業	火山砂防事業	樽前山 堰堤等
総合流域防災対策事業	樽前山	調査等



樽前山火山砂防事業
(熊の沢川1号砂防堰堤)



鶴川河川改修整備事業
(鶴川河道掘削)



海岸事業

事業の概要

直轄胆振海岸は、北海道中央南部(苫小牧市～白老町)に位置し、太平洋に面して弧状の海岸線をなす約29km(うち、24.6km 直轄海岸事業延長)の区間で、人口・資産が集中する背後地の浸水被害の防止や越波による国道36号の通行障害、JR室蘭本線の途絶を解消するため、海岸保全施設の整備を推進します。

● 海岸事業

海岸保全施設整備事業：民族共生象徴空間(ウポポイ)の関連区域に位置付けられているヨコスト湿原・海岸を含む胆振海岸において、海岸保全施設の整備を推進します。

海岸事業の概要

事業別	地区別等	事業の概要
海岸事業	海岸保全施設整備事業	胆振海岸 人工リーフ整備(白老工区)